

建造中の「おれんじえひめ」に会う

事務局長 池田良穂

10年間続いた大阪府立大学の寄付講座が、この3月に終了したことのお礼のご挨拶のために、5月17日に今治造船の本社を訪れました。今年のシップ・オブ・ザ・イヤーに、今治造船建造の2万TEUコンテナ船の受賞が決まった直後だったので、檜垣社長からは最近の大型コンテナ船の建造に関する話から、寄付講座で多く研究テーマに取り上げたPCC、クルーズ客船、そしてオレンジフェリーの新造フェリーの話まで、いろいろお話をする貴重な機会になりました。

当然、この機会にオレンジフェリーの新造フェリーの姿を、ちらりとでもよいから見たいと思い、しまなみ海道の橋を渡ってアイ・エス造船にでかけました。同造船所は、今治造船の傘下の造船所として、主に3万トン程度の小型船の建造を担当しており、今治造船が唯一建造を手掛けている四国開発フェリーの船の建造もここで行われることになりました。

当日は、曇り空で、時々小雨も降る生憎の天気でしたが、ちょうどアイ・エス造船の近くの岸壁に到着した時には薄日がさしてきてラッキーでした。車を停めた同じ場所で四国放送のテレビクルーがカメラを回していたので、テレビも新造フェリーに注目しているのかと嬉しくなりましたが、話を聞くと新造船とは知らなかったようで、四国と大阪を結ぶ大事な航路に今夏に就航する新鋭船であることを詳しく説明しました。

さて、現在艀装中の「おれんじえひめ」はお盆明けに、そして第2船の「おれんじおおさか」は11月頃に就航の予定だそうです。就航したら、ぜひ、本学会の乗船会を企画したいと思っています。



